



南東北

- ・一般財団法人 脳神経疾患研究所
- ・社会福祉法人 南東北福祉事業団
- ・医療法人社団 三成会
- ・医療法人社団 新生会
- ・医療法人財団 健貢会
- ・社会医療法人 将道会
- ・医療法人 謙昌会

第328号

院是「すべては患者さんのために」

URL: <http://www.minamitohoku.or.jp>
E-mail: pr@mt.strins.or.jp



脳卒中後遺症の治療について解説する久保仁先生

脳卒中の後遺症としてよくみられる運動障害には、「片まひ」と「痙縮」があります。片まひは、障害を受けた脳の

要約し、痙縮の最新の治療法や患者さんのQOL（生活の質）改善に欠かせないリハビリテーションについて紹介し

脳卒中後遺症の治療 特につっぱり（痙縮）について

5月医学健康講座

部分の反対側の手足に麻痺が起る症状で、歩きにくくなったり、字がうまく書けなくなったりします。痙縮は、筋肉が緊張しすぎてしまう状態のことです。手足がこわばったり、つっぱったりします。ほとんどは、片まひと同じ側にあ

重要な治療目標の設定

リハビリとの併用が不可欠

痙縮になると、①着替え、入浴などで介護者に身体を動かしてもらった時に強い痛みを伴うことがある②腕が伸びず、ものをつかめない③料理などの家事が困難④日常生活に支障が出ます。

痙縮を治療するには治療目標の設定が重要です。「痛みの軽減」「関節可動域の拡大」「装具の装着のしやすさ」「拘縮や変形の予防、矯正」「介助のしやすさ」「手指機能、上肢機能の改善」「移乗、歩行能力の改善」といった現実的な目標です。

ボツリヌス療法

治療法にはいくつかあります。その一つがボツリヌス療法

法です。ボツリヌス菌（食中毒の原因菌）が作り出す天然のタンパク質を有効成分とする薬を、つっぱりやこわばりのある筋肉に直接注射する治療法で、日本では2010年ごろから用いられるようになりました。

この療法は①局所性の痙縮の治療に有効②効果が3、4カ月程度続く③他の治療との併用が可能④副作用が比較的

少ない⑤などの特徴があります。効果として、着替えなどの日常生活が行いやすくなる、痛みがやわらぐ、リハビリが行いやすくなる、介護の負担が軽くなるなどが期待できます。効果を高めるにはリハビリとの併用が不可欠です。

rTMS治療

次に紹介するのは、磁気の刺激によって神経機能を回復させるrTMS治療（反復経頭蓋磁

気刺激治療）です。人間の脳は通常、左右の脳が互いに抑制し合うことでバランスを保っています。ところが、脳卒中で片方の脳が損傷を受けると、健常脳は過活動となり、損傷脳の活動を過剰に抑制します。rTMS療法は、健常脳に磁気刺激を反復的に与え活動を抑制させることで両大脳のバランスを整え、リハビリ効果を出しやすくします。

rTMS治療を受けるには①脳卒中（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）が原因で上肢が麻痺②麻痺側上肢は少なくとも（2面につづく）

今月号のなかみ

- ▶ 2面 = 1面のつづき、健康生活情報ナビ「酔のパワー」、最近よく聞く言葉
- ▶ 3面 = 当財団施設のISO9001登録更新、アナサキスに注意！、こころの健康、ネットで初診予約
- ▶ 4面 = 施設だより、南東北福祉事業団の法人設立20周年記念式典、新任ドクター紹介
- ▶ 5面 = 南東北創薬・サイクロトロン研究センターの開院記念式典、がん陽子線治療実績、当院の目標
- ▶ 6面 = 福島県議会福祉公委委員会の南東北BNCT研究センター視察、带状疱疹は早目に受診を、院内トピックス
- ▶ 7面 = 「在宅外来」を開設、増子輝彦さんのコラム、7月の医学健康講座、5月の手術件数・救急車台数
- ▶ 8面 = 食の豆知識、薬局だより、編集後記